

復旧・復興の状況報告(全4回)



- ・能登半島地震からまもなく2年(1年10カ月)、奥能登豪雨から1年1カ月経過
- ・これまでの復旧・復興の状況を今後4回の会見で、「道路・河川」「港湾(漁港含む)」「農地」「住まい」の4つのテーマごとに報告
- ・今回(10/29(水))の会見では、「道路・河川」の復旧・復興の状況を報告

報告事項

それぞれのテーマについて、「被災直後の状況」、「現状」、「今後の見込み」を報告

	会見日	テーマ
①	10/29(水)	道路・河川 
②	11月上旬	港湾(漁港含む)
③	11月中旬	農地
④	11月下旬	住まい

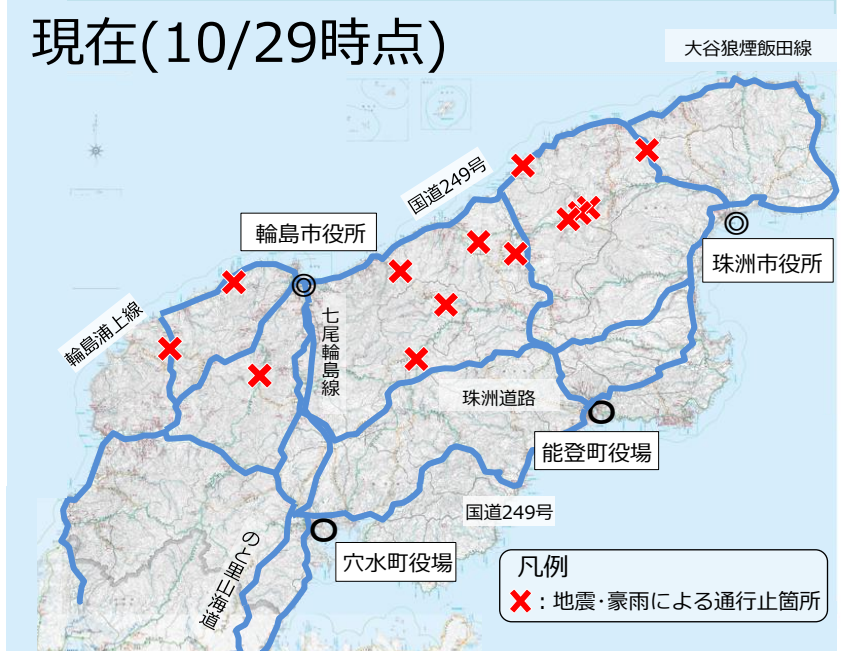
復旧・復興の状況（県管理道路①）

- 能登の県管理道路は**地震・豪雨**により**広範囲にわたる甚大な被害を受けた**が、**関係者のご尽力により順次、通行止めの解除が進んでいる**
- 通行止め箇所は、大規模被害が発生した等の5路線11箇所を除き年末で応急復旧完了**となる見込み
→残る通行止め箇所：地すべりやトンネル崩落による大規模な被害が発生した4路線8箇所
今年8月の大雨により追加対策が必要となった3路線3箇所

**県管理道路
(通行止め)**



**道路の
復旧状況**



道路整備課
076(225)1727

復旧・復興の状況（県管理道路②）

- ・ 度重なる災害に見舞われる中、その都度、道路の応急復旧を進め、交通を確保
- ・ **10月31日(金)13時から輪島浦上線の輪島市大沢町-上山町間（6Km）が通行可能**

◆輪島浦上線（輪島市下山町～上山町地内）

地震被害の応急復旧完了後、豪雨により再度被災したが、
応急復旧を進め、順次交通を確保している

道路整備課 076(225)1727

①被災状況(地震)



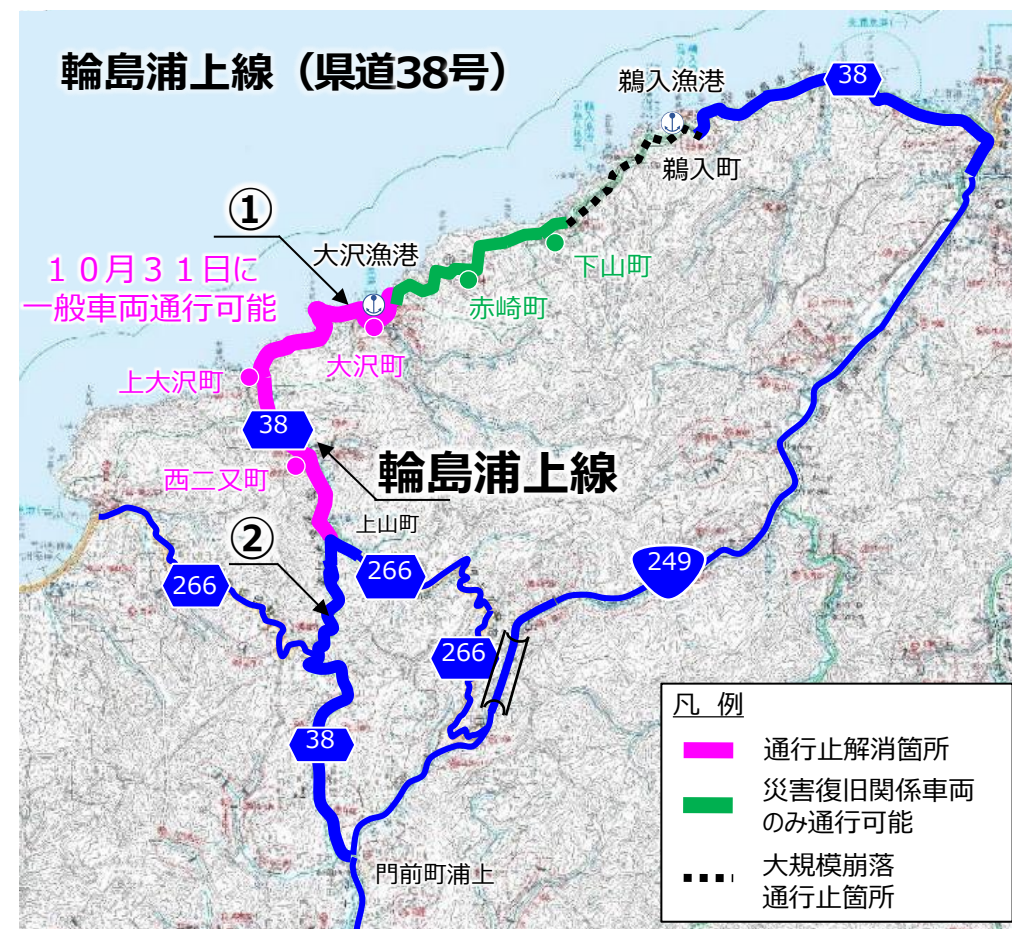
旧復急応



②被災状況(豪雨)



旧復急応



復旧・復興の状況（県管理道路③）



- ・ 本復旧については、奥能登2市2町へのアクセスルートや緊急輸送道路などを優先的に進めている
- ・ この他、市道まがき線（おさよトンネル）について、県が代行して復旧工事を進めている
- ・ 引き続き、**令和10年度末までの本復旧完了を目指して**取り組んでいく

①国道249号（鳳珠郡穴水町志ヶ浦 地内）

道路整備課 076(225)1727



凡 例

- 一般道
- 自動車専用道路
- 奥能登2市2町へのアクセスルート
- 一般車両が通行可能
- 災害復旧関係車両のみ通行可能

被災状況



本復旧完了



②市道まがき線 おさよトンネル（輪島市門前町大滝～門前町和田 地内）

被災状況



応急復旧



復旧・復興の状況（のと里山海道）



- ・発災直後は全線通行止めとなったが、**国の権限代行制度も活用し、昼夜を問わず道路啓開を実施**
 - 令和6年3月に能登方面の通行を確保
 - **令和6年9月に全区間で対面通行を再開**
 - 現在は、カーブや勾配を緩やかにし、**道路の走行性や安全性を改善**するとともに、**本復旧工事を推進**



① 応急復旧状況（横田IC～越の原IC間）



道路建設課 076(225)1720

② 道路の走行環境の改善状況（七尾市中島町小牧 地内）



復旧・復興の状況（国道249号外浦沿岸部）

- ・国の権限代行により復旧を進め、外浦沿岸部において、隆起した海岸を迂回路として活用
 - **令和6年12月に外浦沿岸部(輪島市門前町～珠洲市間)で通行確保**
 - 現在、迂回している**大谷トンネル**、**逢坂トンネル**について、**早期の通行再開を目指す**
 - 引き続き、**令和11年春までの本復旧完了に向けて、国と連携しながら取り組む**

①中屋トンネル工区

被災状況



復旧状況



②千枚田工区

被災状況



復旧状況



復旧・復興の状況（能登半島絶景海道の整備）

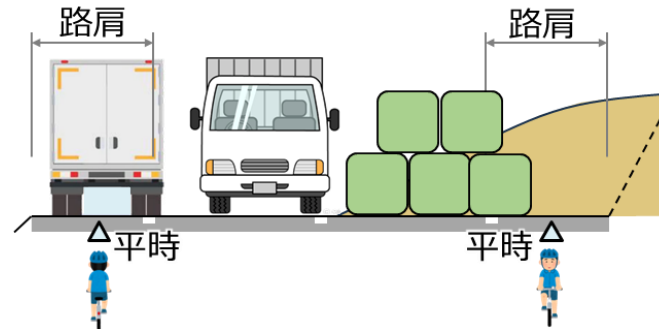


- ・ 国道249号や県道大谷狼煙飯田線などの眺望に優れた半島沿岸部を「能登半島絶景海道」として整備
- ・ 道路の強靱化と里山里海との調和を図りながら半島沿岸部の回遊性を向上し、ルート全体の情報発信等を行うことにより、観光資源をつなぎ、能登全域への誘客につなげる

道路建設課 076(225)1720

ハード

災害時にも通行可能な幅広な路肩整備



道路休憩施設の整備



ソフト

ロゴマーク（ブランド化の推進）

サイクルツーリズムの推進

10/1決定



県全体での
ナショナルサイクルルート
指定に向けた取組への
支援を国に要望

復旧・復興の状況（能登・金沢間の移動高速化）



- ・金沢や能登地域の各市町間への移動高速化に向けて、**のと里山空港ICを中心とした幹線道路ネットワークの構築を目指す**

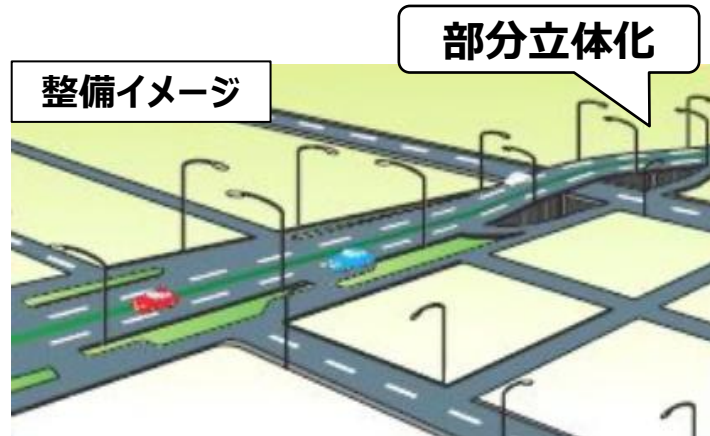
○のと里山海道（のと里山空港IC～徳田大津IC）の国直轄事業による4車線化

道路建設課 076(225)1720

→金沢からののと里山空港ICまでの全線4車線化を目指す

○珠洲道路・門前道路の高規格化

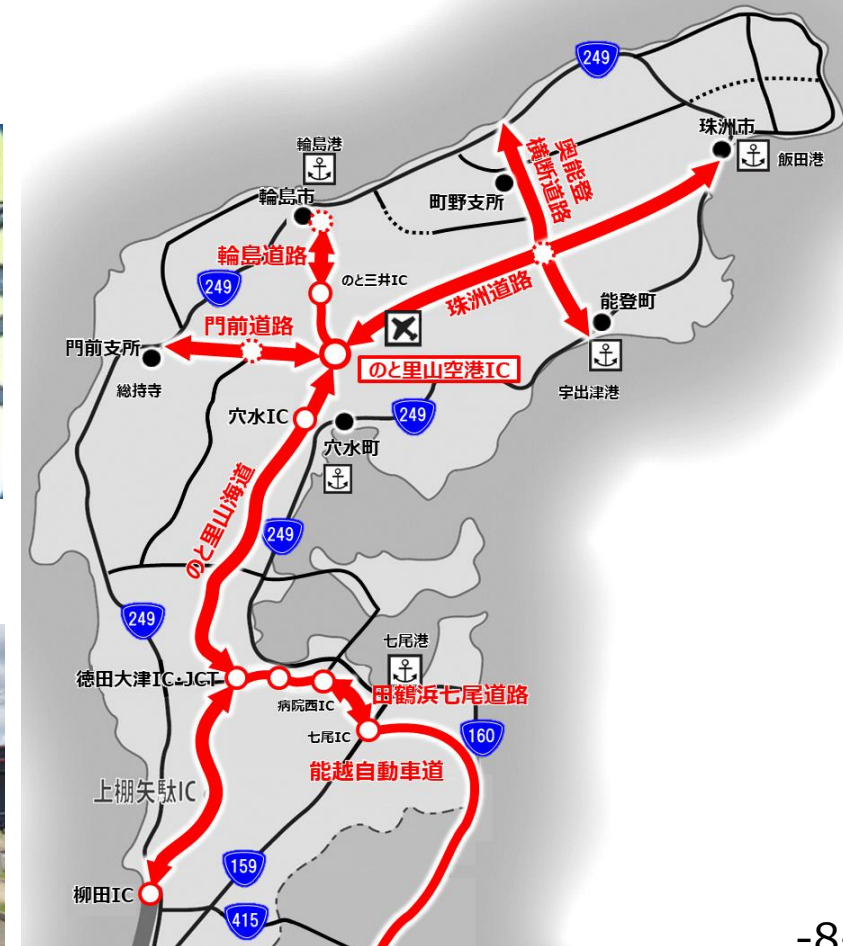
- ・部分立体化
 - ・線形改良
 - ・拡幅
- などにより高速性・強靱性を確保



○奥能登横断道路の規格の高い道路整備

（県道宇出津町野線）

- ・線形改良
 - ・拡幅
- などにより強靱性を確保



復旧・復興の状況（道の駅の防災機能強化）

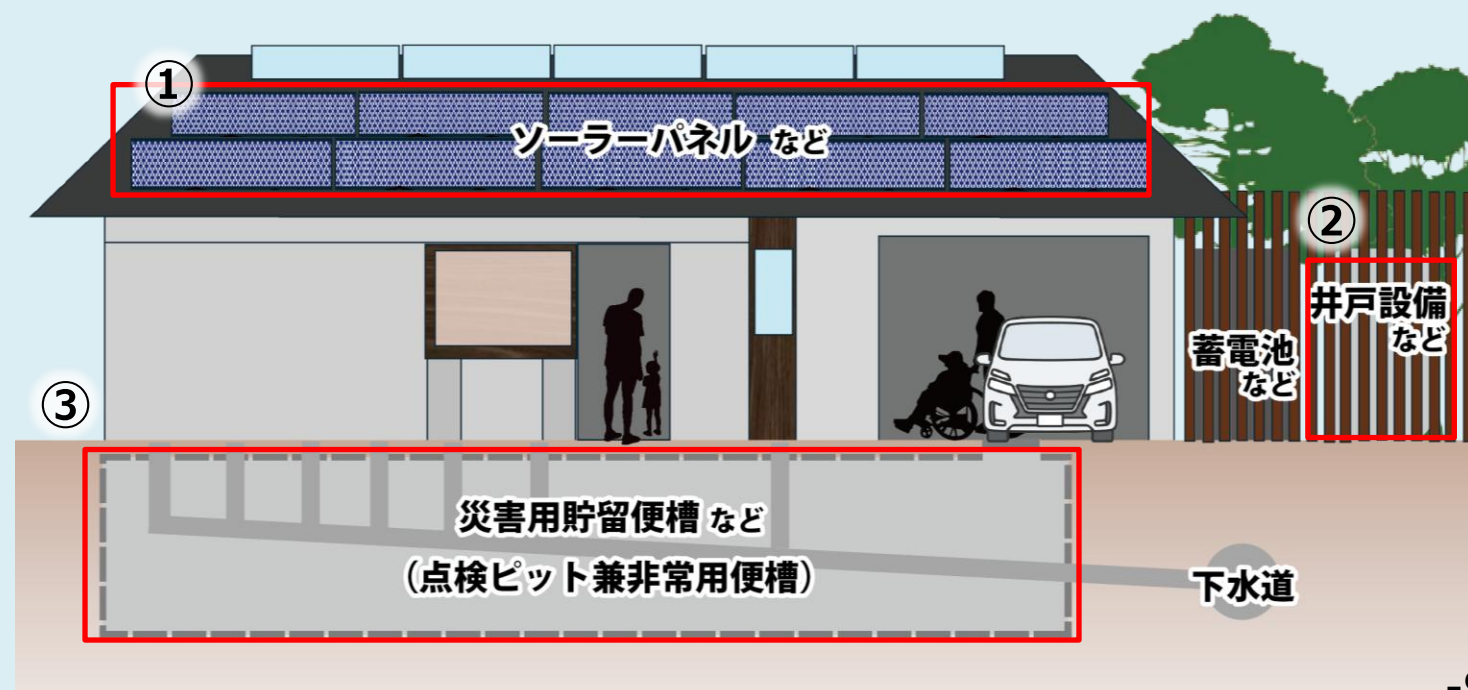


- ・「道の駅」は、住民などの一時的な避難場所や給水所などの防災拠点として多様な役割がある
 - ・一方で、能登半島地震では、停電や断水により、「道の駅」としての機能を十分に発揮できなかった
 - ・市町とも連携し、停電や断水時にも使用可能な災害に強い自立型トイレを整備するなど、「道の駅」の防災機能の強化を図る
- まずは利用者が多い「高松」、「なかじまロマン峠」、「桜峠」の調査設計に着手し、来年度より順次、工事に着手

災害に強い自立型トイレの整備

道路建設課 076(225)1720

- ① 電気の確保
ソーラー発電、自家発電施設など
- ② 水の確保
防災井戸、貯水槽など
- ③ 汚水処理対策
貯留便槽、耐震処理浄化槽など



復旧・復興の状況（県管理河川①）



奥能登2市2町の河川状況

<被災河川>

【地震】4 5 河川
【豪雨】3 4 河川

<応急復旧>

【地震】2 9 河川（R6.5.31完了）
【豪雨】3 4 河川（R7.5.31完了）

いずれも出水期前までに
応急復旧完了

- 川の流れを著しく阻害している箇所や人家に近接する箇所など、**緊急に対応が必要な箇所において応急復旧を実施し**、川の水量が多くなる**出水期前までに作業を完了**
- 被害が大規模で、復旧に高度な技術力を要する河川については、**国の権限代行制度を活用し、復旧を進めている**（河原田川など5河川）

地震による被災河川の応急復旧状況

河道内の土砂の撤去、大型土のう設置による河岸の浸食防止などを実施

山田川（能登町宮地地内）



河原田川（輪島市熊野町内）※直轄権限代行による復旧箇所



復旧・復興の状況（県管理河川②）



豪雨による被災河川の応急復旧状況

河道内の土砂や流木の撤去、
大型土のう設置による河岸の浸食防止などを実施

河川課 076(225)1735

塚田川（輪島市塚田町～久手川町地内）

※直轄権限代行による復旧箇所



若山川（珠洲市若山町大坊地内）



珠洲大谷川（珠洲市大谷町地内）

※直轄権限代行による復旧箇所



にしふたまたがわ

西二又川（輪島市西二又町地内）



復旧・復興の状況（県管理河川③）

- ・ **非出水期となる11月から**、能登半島地震や奥能登豪雨により被災した**奥能登2市2町**の45河川のうち、まずは、**人家が連坦するなど優先度の高い19河川**で、**本格的な復旧工事に着手**
→河原田川（輪島市）において、11月4日（火）から工事に着手
- ・ 引き続き、**令和10年度末までの復旧完了を目指し、取り組んでいく**

河川の復旧状況

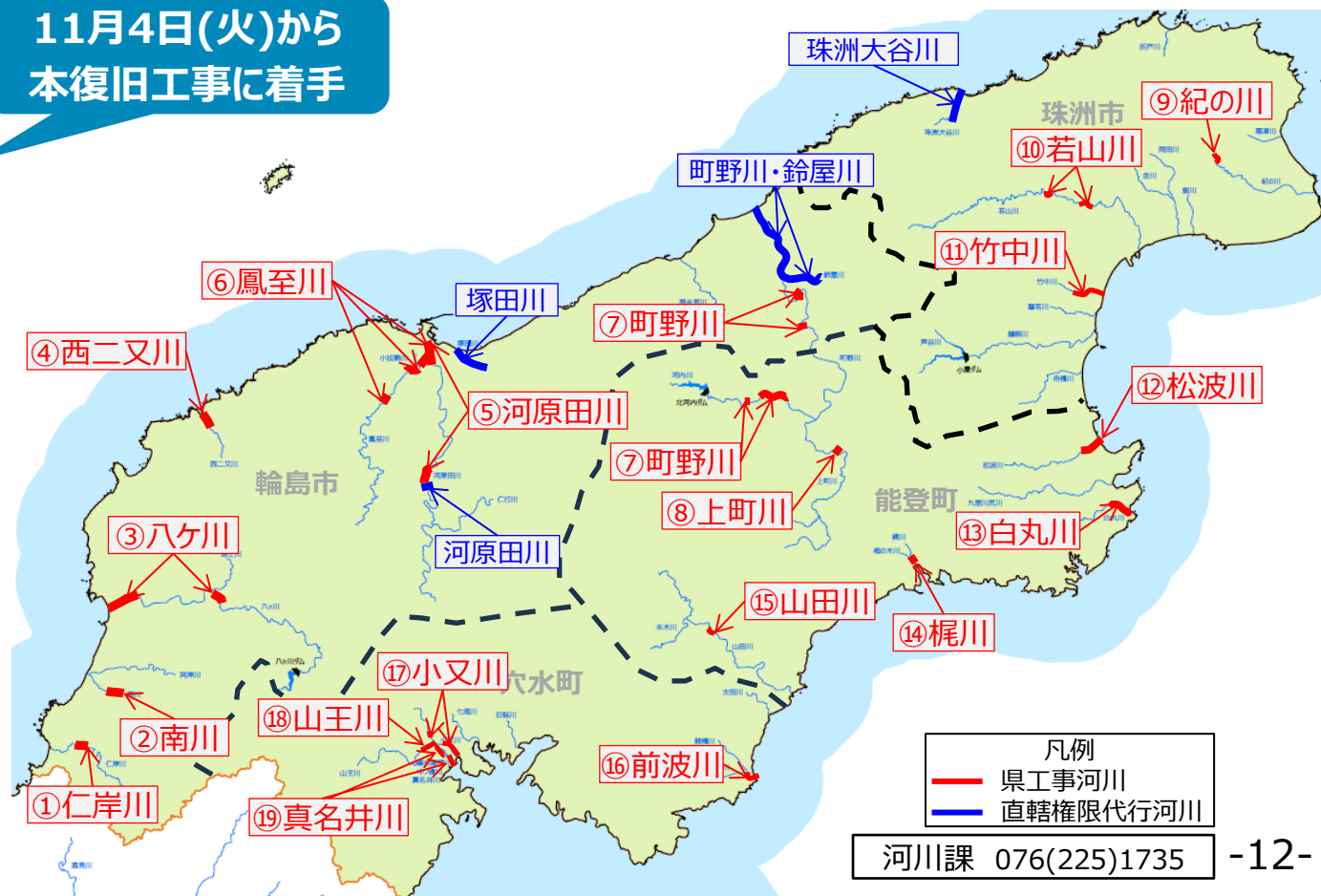
◆河原田川（輪島市鳳至町地内）



◆若山川（珠洲市若山町中田地内）



11月4日(火)から
本復旧工事に着手



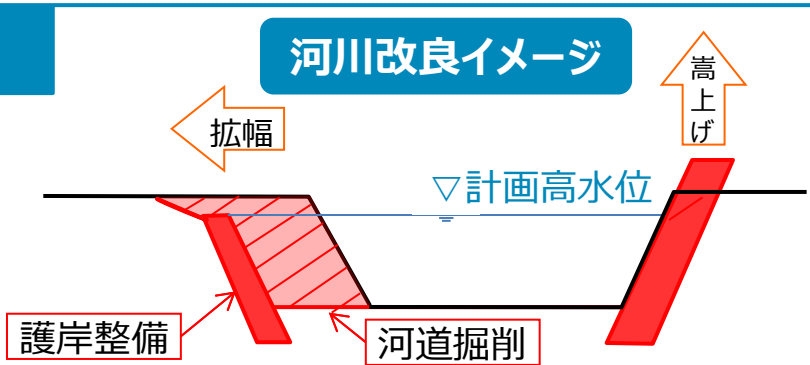
復旧・復興の状況（緊急治水対策プロジェクト）



- ・奥能登豪雨による甚大な被害を踏まえ、今後の災害防止策や被害軽減策をとりまとめた「奥能登地区緊急治水対策プロジェクト」を策定(R7.3)
→国、県、市町など流域の関係機関で構成される「奥能登地区流域治水対策検討部会」において、緊急的な対策をとりまとめ
- ・流域の関係機関が連携し、ハード・ソフトの両面から流域治水対策を推進

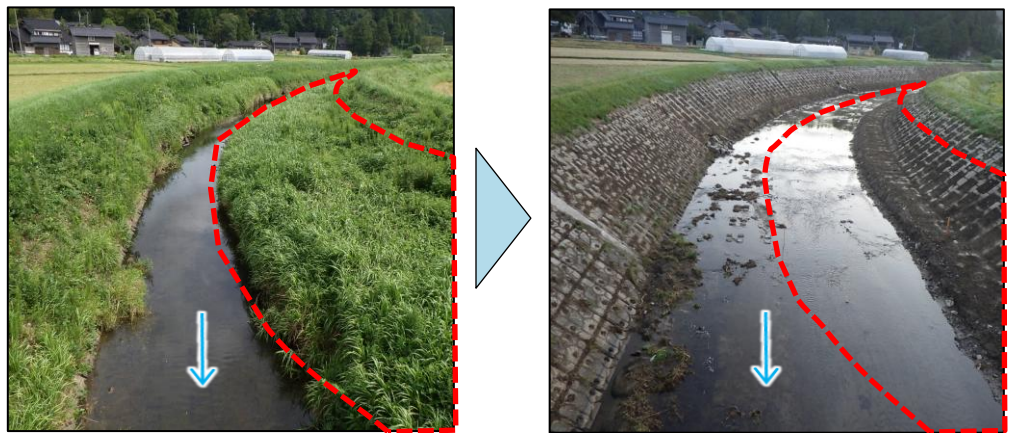
抜本的な治水対策【ハード】

- 被害が大きかった場所では、護岸の復旧に合わせて、川幅の拡幅や護岸の嵩上げなどの改良工事を実施



即効性のある治水対策【ハード】

- 降雨等で流出し、河道内に堆積した土砂等の除去を実施

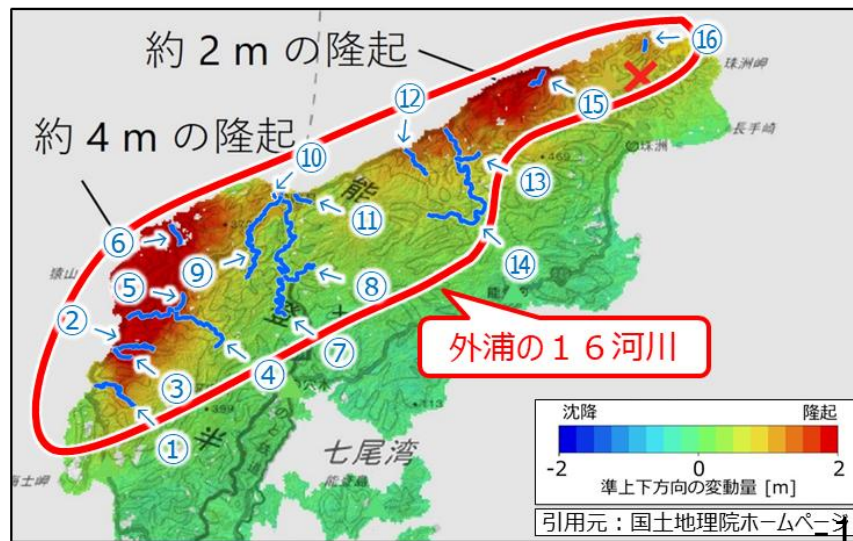


浦上川（輪島市門前町田村地内）

河川課 076(225)1735

避難行動の支援【ソフト】

- 地震で顕著な地形変動が生じた外浦の16河川について、洪水浸水想定区域を見直し(R7.5)
- その他の見直しが必要な河川については、R8年出水期までに洪水浸水想定区域を見直し
- これらの見直しを反映した洪水ハザードマップの早期作成に向け、市町を支援



引用元：国土地理院ホームページ

復旧・復興を円滑に進めるための取り組み



・今後、本格化する**災害復旧工事を円滑に進めるため、様々な取り組みを実施**

→奥能登2市2町における県発注の公共土木施設等の災害復旧工事の入札不調（R7.4.1～R7.9.30）：35件/210件（16.7%）

入札契約

・入札参加要件の緩和（R7.10～）

- 予定価格3億円以上15億円未満の工事**
奥能登・中能登以外の県内業者も
構成員として参加可能とした

代表者	県内業者
構成員	奥能登・中能登の事業者 ⇒ 県内業者に緩和

- 予定価格15億円以上の工事**
県内に営業所を置く県外業者も
代表者となることを可能とした

代表者	県内業者 ⇒ 県内業者および 県内に営業所を置く県外業者に緩和
構成員	県内業者

など

適切な工事費の計上

・地域外からの労働者確保に要する 費用の計上（R7.7～）

- 災害復旧工事における宿泊費等の対象**
 - ・プレハブ等の仮設宿舍の設置費や撤去費
 - ・アパート・借家借上などの借上費
 - ・旅館・ホテルなどの宿泊費

・急激な資材価格変動に対する 適正価格の反映

- 最新の労務単価や資材単価を把握し、
見積もりを活用するなど、地域の実勢
価格を反映した予定価格の算出

・避暑・避寒対策費の費用計上

など

円滑な施工の実施

・発注者調整会議の開催（R6.4～）

- 国や市町など、関係者間において、
発注計画や資材の調達、工程管理等の
調整を行う（定期的に実施）

・情報連絡会議の開催（R6.6～）

- 国、市町、建設産業団体等の関係者間
において、発注計画の調整や、資機材や
労働力の確保、地域の課題等について、
情報共有を図る

・配置技術者の途中交代

- 工期が2年以上となる長期間の工事
において、監理技術者等の途中交代を
認める

監理課技術管理室 076(225)1785

など

関係人口登録システムの運用開始

- 関係人口官民連携協議会で検討してきた**関係人口登録システムの運用を11月1日から開始**
→ 関係人口登録システム：地域と地域外(関係人口)を「つなぐ」ポータルサイト
- 地域と関係人口による支え合いの「輪」を広げる意味を含め**システム名称は「いしかわのWa!」**
- やむを得ず二地域居住されている方も登録対象とし、地域との関係性維持につなげる**

システムの概要

県内地域
市町・地域住民・
団体等



県 関係人口登録システム「いしかわのWa!」

キャッチコピー あなたといしかわをつなぐWa!

いしかわのWa!

プログラムと関係人口を
システムでマッチングし、
地域と関係人口をつなぐ

※リリース時点で約20プログラムを掲載予定

ポータルサイトトップページ



将来的に関係人口になり得る方
個人・団体・
やむを得ず二地域
居住している方等

※プログラム
地域住民との交流や継続性を意識した取り組み
(例：被災地での子供向けイベントの運営手伝い)



個人や団体等がプログラムに参加し、現地で活動

関係人口へ

「いしかわのWa!」のPRの実施



「いしかわのWa!」を広く周知するため首都圏でPRを実施

▶北陸3県合同移住フェア

日時 11月1日(土)11:00～16:00

会場 東京交通会館12階ダイヤモンドホール+カトレアサロンAB（東京都有楽町）

内容 特設ブースを設けてPRを実施



詳しくはこちら
(ホームページ) ▼



▶「いしかわのWa!」キックオフイベント

日時 11月5日（水） 18時～20時

会場 東京ミッドタウン八重洲カンファレンス5階イベントスペース

- 内容**
- ・基調講演 【(株)雨風太陽 高橋 博之氏】
 - ・パネルディスカッション 【(株)雨風太陽 高橋 博之氏、国土交通省、総務省】
 - ・いしかわサテライトキャンパス参加者による活動体験談
 - ・県内の地域団体による「いしかわのWa!」掲載予定の地域交流プログラムの紹介



(株)雨風太陽
高橋 博之 氏



国土交通省
酒井 達朗 氏



総務省
志賀 真幸 氏



サテキャン参加者
飛川 優 氏
(慶応義塾大学3年生)



◀ 詳しくはこちら

防災と震災復興への道のりを旅して学ぶツアー

- ・クラブツーリズムは被災地を巡りながら能登の現状や復興の過程を学ぶ「これからの防災と震災復興への道のりを旅して学ぶ」ツアーを令和8年1月～3月に実施
- ・県、国土交通省 能登復興事務所は、震災時の空港の役割や能登の復旧状況等を説明するガイド役として連携

ツアー概要

対 象：主に首都圏の個人客

日 程：1月～3月 9本設定（各定員40名）

行 程：2泊3日（能登で宿泊）

〔 国道249号（復旧箇所の説明）→すずなり食堂（冬の味覚）→青の洞窟→見附島→和倉温泉護岸（復旧箇所の説明）
→のと鉄道語り部観光列車→総持寺→のと里山空港（震災の説明） ※のと里山空港往復往復利用 〕

※宿泊場所 1泊目：休暇村能登千里浜、2泊目：和倉温泉のと楽

のと里山空港（震災の説明）



和倉温泉護岸（復旧箇所）



国道249号千枚田工区（復旧箇所）



各主体の役割

◆クラブツーリズム：旅行商品の販売（本日から販売）

◆県：ツアーの企画、震災時に空港が果たした役割、和倉温泉護岸の復旧箇所の説明

◆国土交通省能登復興事務所：国道249号の復旧箇所の説明



詳しくはこちら
（ホームページ） ▼

